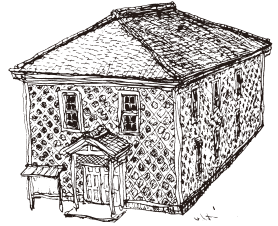


演説館



福澤先生とその門下生たちは、西洋のスピーチ、デベートを研究し、わが国の「演説」を創始しました。三田演説館は、明治8年に開館した日本最初の演説会堂です。

●常任理事

い わ な み あ つ こ
岩波敦子

選ぶ勇氣

「慶應義塾初の女性常任理事ですね」。そう多くの方がお声を掛けてくださいます。そのたびに面映ゆく感じると同時に、改めて自分が女性だったことに気づかされます。

若かりし頃、男性だったらなあと思わなかったわけではありませんが、けれども年齢を重ねるにつれて、性別を強く意識せずに生きることができるようになりました。

性差に拘泥するより、人間力を身につけることこそ大切なのだと感じるようになったのは留学時代のことです。

異国の文化の中で人と触れ合うとき、試されるのは性差や経歴ではなく、その人が持つ人間としての魅力です。人を惹きつける力のある人を見てみると、皆一様に自分の生き方に自信を持っています。自信とはいわゆる社会的に成功した人だけが持つ特権ではないでしょう。自分の生き方を肯定し、自分と同じように他者の生き方を受け入れる懐の深さこそ、職業を問わず本当の意味で自信の礎だからです。

生きていくことは選択の連続です。いくつかの選択肢から一つを選ぶことは、選ばなかった何かを諦めることを意味してい

ます。一見全てを手に入れているように見える人も、必ず迷い決断を迫られ、選んできた延長上に今があるのです。

大切なのは、自分で選択する機会が与えられること、そして自分が選んだのだというはつきりとした認識とともに、自己の選択に対する責任でしょう。私の担当の一つである「男女共同参画」が目指す目的もそこにあります。

若い人たちには、無限の可能性があります。目の前に広がる選択肢の多さに躊躇し、選択を誤つたらと尻込みしてしまうかもしれません。受験や就職などが試され、選び選ばれる機会も少なくないでしょう。そんなとき、人生は選択の連鎖であつて、一つの選択が全てではないことを思い出してほしいのです。そして熟慮の上で選んだ道に一步踏み出したら、振り返っても後悔はしないでください。

人生の選択を迫られる前に、選び取る訓練の機会を提供するのが教育の現場です。それは失敗を学ぶ場でもあります。皆さんと一緒に、人を育てる環境づくりに貢献していきたいと思っています。